

手指の消毒剤の ウイルスに対する有効性について

下記の製品について試験した結果、
新型コロナウイルスおよびインフルエンザウイルスを**99.99%以下**に
減少させることを確認いたしました
(不活化量4Log₁₀以上)



商品名			有効成分 (+添加成分)	ウイルスへの有効性データ				
				ウイルス名	作用時間*1	コントロール ウイルス量*2	残存 ウイルス量	不活化量*3
ピオレU	手指の 消毒液	指定医薬 部外品	ベンザルコニウム塩化物 0.05w/v%配合 (+65vol%エタノール)	インフルエンザ ウイルス	15秒	7.48	2.76以下	4.71以上
					30秒	7.63	2.54	5.09
				新型コロナウイルス	15秒	7.12	2.76以下	4.36以上
				30秒	7.12	2.00以下	5.12以上	
ピオレ ガード	薬用泡で出る 消毒液	指定医薬 部外品	ベンザルコニウム塩化物 0.05w/v%配合 (+44vol%エタノール)	インフルエンザ ウイルス	15秒	7.48	2.76以下	4.71以上
					30秒	5.66	1.61	4.05
				新型コロナウイルス	15秒	7.12	2.76以下	4.36以上
					30秒	6.89	2.00以下	4.89以上
	薬用消毒 スプレー	指定医薬 部外品	ベンザルコニウム塩化物 0.05w/v%配合 (+65vol%エタノール)	インフルエンザ ウイルス	15秒	7.48	2.76以下	4.71以上
					30秒	6.10	0.30以下	5.80以上
				新型コロナウイルス	15秒	7.12	2.76以下	4.36以上
					30秒	7.12	2.00以下	5.12以上
	薬用消毒 スプレーα	指定医薬 部外品	エタノール79.7vol%配合	インフルエンザ ウイルス	15秒	7.48	2.76以下	4.71以上
				30秒	7.63	1.30以下	6.33以上	
新型コロナウイルス				15秒	8.07	3.24	4.83	
				30秒	7.45	2.00以下	5.45以上	

*1世界保健機構や米国疾病予防センターの推奨消毒時間を鑑み、15秒および30秒を暴露時間と設定

*2蒸留水 (0.00wt%BC/0vol%EtOH) での同条件の試験結果 (当該消毒剤によるウイルス減少量を求めるための基準値)

*3不活化量とは、コントロールウイルス量から残存ウイルス量を差し引いた値で、商品がウイルスに作用することにより減少した程度を示す

【出典】

・手指消毒による感染リスク低減とQOL向上の両立—塩化ベンザルコニウムとエタノールの組合せによるウイルス不活化効果—

リンク先：<https://doi.org/10.11447/ira.SRA-0420>

・補足：市販手指消毒剤の15秒暴露によるウイルス不活化効果

リンク先：<https://doi.org/10.11447/ira.L-22-017>

■試験方法

ウイルス不活化試験の国際規格の1つである欧州統一規格EN14476:2013+A2:2019に記載された定量的懸濁試験に基づき行いました。消毒液と接触することにより、実験的に接種した感染性ウイルスがどのくらい減少するのかを調べ、不活化効果を試験する方法です。

■結果

上表では原著論文と同様に、減少量をLog₁₀で示しています。減少量3Log₁₀は感染性ウイルスが99.9%不活化されたことを意味しており、一般に不活化に有効と判定されます。いずれの消毒剤も減少量4Log₁₀以上を示しており、インフルエンザウイルス及び新型コロナウイルスの不活化に有効であるという結果となりました。